

千葉工業同窓会報

平成26年3月1日

第25号

発行 千葉工業同窓会



第61回 千工祭 風景 2013.11.2 千葉工業高校にて

目次

同窓会長就任のご挨拶	深山 博……………2	ラグビー部60周年	中村勇三郎……………15
学校長就任のご挨拶	國馬隆史……………2	“感動の出会い。をありがとう！”	
総務委員会の報告とお願い	金子 剛……………3	54年前の卒業に再会「ベルトン水車」	金子賢二……………16
同窓祭実行委員会 活動報告	宮崎一雄……………3	東京で活躍するオートバイレーサー青山博一(平12EM)・岡平さん見参	
環境整備委員会 活動報告	大野繁樹……………3	母のまなざし 命がけ 祈る無事……………17	
レクリエーション委員会 活動報告	水間英一……………4	松本透前校長先生 教育功労者表彰	
・ゴルフ同好会 ・ハイキング同好会 ・囲碁同好会		受賞祝賀会開かる	早尾 茂……………18
・麻雀同好会 ・グランドゴルフ同好会		第1次南極観測隊 平山善吉さん(27C)	
事務局報告	長嶋孝雄……………6	瑞宝小綬章受賞	宇田川健夫……………18
同窓会・同窓会・クラブOB・OG会…実施・予定 情報……………6		大空を飛び、アルプスを歩いて	小川信輝……………19
同窓会報基金(平成24年度90万円)のお礼と寄付金のお祝い……………7		特別寄稿 歌祭り・居酒屋、そしてセミナー	
千葉工業同窓会ホームページを開設しました……………7		いま他県・他校の同窓会活動は…	福原敏夫……………20
同窓会員の状況……………7		千葉工業高校 この一年……………21	
北総支部長就任のご挨拶	大野清伍……………8	・技能五輪全国大会 ・平成25年度 文化祭 ・体育祭 ・冷房完備	
千葉市西支部長就任のご挨拶	湯浅秀男……………8	・体験入学 ・野球応援 ・創立記念講演会 ・植栽 ・理科研究発表会	
千葉市東支部長就任のご挨拶	石橋 暁……………8	・千工新ロボフェア2013 ・高校生による科学工作教室 ・吹奏楽部	
支部トピックス紹介……………9		・機械発明制作部 ・体育部 ・自動車部 ・ベトナム国際交流事業	
①南総支部 ②外房支部 ③千葉市支部 ④京葉支部		平成25年度 進路状況(全日制)……………23	
⑤市原市支部 ⑥北総支部 ⑦東葛支部		編集後記……………23	
千葉市3支部創立20周年記念祝賀会が開催される 野村隆男…14		千葉工業同窓会 役員名簿……………23	
先代、京成スカイライナーを設計した男のつれづれ話		第29回「同窓祭」開催のご案内……………24	
宇野昭房……………14		同窓会総会の開催……………24	

千葉工業同窓会ホームページ <http://chibakogyo-dosokai.jimdo.com/>

同窓会長就任のご挨拶

千葉工業同窓会長 深山 傳 (38 E)



昨年の本部定期総会にて、会長に推挙されました38年電気科卒の深山 傳(つたえ)です。このような重責をお引き受けし、ここに改めて責務の重大さを痛感いたし、身の引き締まる思いでございます。

微力ではありますが、諸先輩方が築いてこられました千葉工業同窓会の伝統を継承し、一人でも多くの方がそれぞれの豊かな人生の上に、もう一つの豊かさを感じる同窓会になるように全力を尽くす所存ですので、会員の皆様方のご協力とご支援をお願いいたします。

さて、同窓会総会において、いろいろと議論がありましたように、地域支部会員の高齢化による退会者の増加傾向にあり、地域支部での増員対策、更には「財団千工会」が「一般財団千工会」に移行した事による同窓会の財源基盤の確立など課題が山積しておりますが、鋭意解決すべく取り組んでまいります。

この一環として、新たに「千葉工業同窓会」ホームページを、平成25年9月1日にリニューアルし、本部・支部の行事計画を初め、規約などを掲載し情報の発信の場を充実いたしましたので、是非ご覧いただき興味のある催し物に積極的に参加され同窓生や同級生との親睦と融和を図り、これからの人生を育む場として活用していただきたいと思っております。

更に、母校も3年後に「創立80周年記念行事」を平成28年11月26日(土)に祝賀行事を行うことになりました。その情報もホームページに逐次発信してまいりますのでご覧ください。

また近年、卒業生の占める割合が多くなった「生実校舎の卒業生の皆さん、出身地または居住されている地域支部へ入会され、次世代の同窓会を担っていただける事を切に願っております。

最後に、千葉工業同窓会が引き続き同窓生に寄与できる財源を確保するために、同窓生の皆さんからのご協力とご支援をお願いしご挨拶いたします。

学校長就任のご挨拶

千葉工業高等学校 校長 國馬 隆史



ハングリーであれ！ 愚かであれ！

千葉工業同窓会の皆様には、日ごろから、母校の教育活動にご支援ご協力をいただき誠にありがとうございます。校長に就任して、同窓会が9支部もあることに驚きました。

残念ながら、一部の支部総会には出席できませんでしたが、「巧みの先達」にお会いすることを毎回楽しみにしています。

目下、本校では「県立学校改革推進プラン」により、県内の工業教育の「拠点校」と工業高校の応援団である「コンソーシアム」という連携組織の事務局を本校に置き事業を推進しており、更に、大学進学に特化した「理数工学科」を設置する準備を進めています。先輩方には良い知恵をいただきたい。

さて、私は昨年の暮れにソウルとハノイに行くチャンスいただきました。

まず、文部科学省の委託事業で韓国のソウル工業高校等を視察しました。韓国では、以前の大学進学推進から就職推進へと政策転換し、「人が企業だ」というスローガンで企業人育成を最重視しています。世界的企業のサムスンや現代自動車が、現場同様の機械と職員を

派遣し高校で実習をしており、更に、特定企業に就職すると兵役が免除されます。「企業戦士」とも言えます。

次に、姉妹校交流でベトナムのハノイ工科短期大学を訪問しました。ベトナム人は反日感情が一切なく、科学技術先進国の日本に憧れており、日本人として誇りを感じました。ハノイの街中を、ホンダのバイクやトヨタの自動車が洪水のように走り、信号無視の交通マナーには閉口しましたが、国民性は昔の日本人そっくりで、シャイで勤勉で、家族思いで黙々と働きます。

「人が企業だという企業戦士」も「謙虚で家族思いの働き者」もどちらもグローバルな人材だと私は思います。卒業生には、アップルコンピューター創業者のステイブ・ジョブズが残した「ハングリーであれ。愚かであれ」という言葉を贈ります。「いつまでも若さを失ってはいけない。ハングリー精神を持ち続け、愚直であり続けよ」というジョブズらしい言葉です。卒業生には、ハングリー精神で世界に羽ばたく「グローバルな人材」になってほしい。

間もなく創立80周年記念事業を催すこととなりますが、一般財団千工会と同窓会の方々の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

総務委員会の報告とお願い

総務委員長 金子 衛 (38M)



今年度から総務委員長の大役を仰せつかった金子でございます。何分不慣れで、皆様にはご迷惑をおかけすることが多々あるかと思いますが、一生懸命努めますので宜しくお願い致します。

さて、母校は2年後に「創立80周年」の節目の年を迎えます。過去50周年、60周年、70周年と節目の年に、その時代にふさわしい祝賀行事を行って参りましたが、80周年記念行事も母校、PTA、同窓会が核となり、「創立80周年記念事業実行委員会」(会長：深山同窓会長)を立ち上げ、平成28年11月26日(土)に祝賀行事を実施することに決めさせ

ていただきました。

今までに数度の委員会を開催し、祝賀会の内容や記念事業の内容等、準備を徐々にスタートさせていますが、何よりも“資金”をどう調達するかが最大の課題であります。

この資金はPTA積立金や企業からの支援のほか、同窓会に致しましても最大限の支援をして参りたいと考えております。

具体的には今後3年間をかけ、同窓生に『心からのご支援』としてのご寄付をお願いし、「80周年記念事業」の成功を支えたいと考えております。

今後、「同窓会報」でお知らせして参りますが、請先輩方の“篤きお心”をお願い致したく存じます。

同窓祭実行委員会 活動報告

宮崎 一雄 (42C)

平成25年4月21日(日)「第28回同窓祭」を母校にて開催しました。当日は、寒さが厳しく残念ながら、参加申込みされた方も何名か欠席されてしまいました。

同窓祭のオープニングは「校旗入場」、中村先生(60E・千葉工業高校勤務)が旗手を務められていたが、その両手に握られた校旗を見ると、一気に学生時代にタイムスリップするのも伝統の力でしょうか。

続いて、総合司会「松本信行(34M)」さんの進行により、物故者に対し黙祷を行い哀悼の誠を捧げ、以下式次第に従い同窓会長挨拶、学校長挨拶、来賓祝辞等々と進行し、ノンアルコールビールによる乾杯後、恒例の「吹奏楽OB・OGによる演奏」、喜寿となられる方に、同窓会

長から記念品の贈呈がなされました。

終盤は、恒例の検見川、津田沼、生実の校歌斉唱で大変盛り上がりました。

【活動状況】

- ・平成25年 4月21日(日) 「第28回同窓祭」実施
 - ・平成25年 7月19日(金) 同 反省会
 - ・平成25年12月20日(金) 「第29回」実行委員会
 - ・平成26年 1月29日(水) 第2回 実行委員会
 - ・平成26年 4月20日(日) 「第29回同窓祭」予定
- ※実行委員会としては、今年も多く同窓生の参加を望んでおります。

環境整備委員会 活動報告

大野 繁樹 (36M)



学校側主体で行う様になって2年目となりました。

第1回目の植栽は昨年6月27日(木)に実施しました。参加者は、生徒の美化委員12名、先生6名、環境整備委員4名、PTA役員4名の参加もあり、合計26名で、マリーゴールド、サルビア、日々草、ペコニア、インパチェンスと5種類全約360本の花を手際よく、効率よく植栽して頂き、花もきれいに咲いてくれました。ご協力頂きありがとうございました。

次回は卒業式、入学式が行われる前の2月頃に予定しております。生徒たちや、訪れる皆様に観られる花が咲いております様に、意義ある時期に計画致したいと思っておりますので、次回も多く皆様方の参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

平成25年度のRE活動は春の隅田川&東京スカイツリーウォーキングに始まり、秋の御岳山ハイキングにて幕を閉じました。その中で新たにグラウンドゴルフ同好会が発足し第1回大会が開催されました。下記に各同好会・実行委員長の報告を記しますので御一読下さい。

なお、千葉工業同好会ホームページに同好会本部関係の行事日程(予定・変更・中止)等を随時掲載しておりますのでご覧ください。

○ゴルフ同好会 活動報告

第15回のゴルフコンペが10月15日 真名CC ゲーリープレイヤーコースに会員54名の参加で台風の前兆で湿りがちな天候の中スタート。前半のラウンドは順調に進行しましたが、午後からは降雨も増して天候悪化が予測されていたため、全員のホールアウトは困難との判断で、ハーフラウンドの競技に変更して行われました。成績は以下の通りでした。

個人の部では悪天候の中で2位以下に大差をつけた 吉原 茂(南総支部)が優勝、準優勝は花沢 久(外房支部)、3位は近藤芳雄(北総支部)でした。

団体の部は上位3名の集計スコアで競われ、最多数9名の参加者を擁した外房支部(花沢 久・深山 博・市川新一)が優勝 僅差で準優勝は北総支部(近藤芳雄・稲垣 稔・加藤隆史)3位は京葉支部(萩原光正・豊田三男・平山圭助)でした。

本年も参加者各位の厚意2万円を「社会福祉法人・千葉市社会福祉協議会」に寄付させていただきました。

なお第16回大会は本年と同じく「真名CC ゲーリープレイヤーコース」で平成26年10月21日(火)に開催予定ですのでゴルフ愛好者の皆さん参加をお待ちしています。

同好会への参加は各支部実行委員または事務局へ連絡をお願いします。

ゴルフ同好会事務局長 市川 新一(38M)
電話 090-3108-7071



市川事務局長(左)と木間RE委員長(右)

○ハイキング同好会 活動報告



千葉工業同好会ハイキング同好会
第24回 秋のハイキング(紅葉の奥多摩・御岳山登山)
平成25年11月16日(土)

ハイキング同好会は現在90名の会員で年2回活動しています。活動は例年同様春と秋に行っています。春は名所・旧跡を訪ねてのお花見ウォーキング、冬は関東周辺のハイキング(軽登山)を行っています。

平成25年春は4月6日に「桜の隅田公園と東京スカイツリー」のお花見ウォーキングを31名の参加者で行いました。前日の天気予報では「翌日は不要な外出は避けるように」と再三報道されるほどの悪天候が予想され催行が危ぶまれましたが、参加者全員東武鐘ヶ淵駅に集合しました。

コースは鐘ヶ淵駅→東白鬚公園→隅田公園→東京スカイツリーの行程で歩き始め、途中公園内の七福神めぐりや名物言問団子のお土産買いや黒堤桜並木と隅田の川面を眺めながらのウォーキングを楽しみました。計画では隅田川の満開の桜を見ながらの昼食でしたが、お昼頃になると雨雲と風が出始めましたので野外での昼食は取止め、東京スカイツリーへ急行し、遅くなりましたが昼食を取りそこで解散し各自家路に着きました。

秋は11月16日に「紅葉の奥多摩・御岳山登山」のハイキングを20名の参加者で行い、当日は近年にない好天候に恵まれ最高の登山日和となりました。しかし紅葉のベストシーズンのため、道路は大変に混み

合う予想でルートを色々検討し、例年のルートを変えて千葉を出発しました。途中南流山に寄り全員揃って再出発しました。

幸い想定通りの時間で御岳山登山口に着き往路はケーブルカーで御岳山駅まで登りました(内2名は登山口から頂上まで歩きで登りました)。駅から30分ほどの歩きで山頂に着き、「武蔵御岳神社」に参拝後、紅葉したモミジの下で秋日和に浸りながら、各自持参したお弁当を食べ記念写真を撮り下山しました。

下山は全員歩きでしたが2、3の人は膝痛で苦労したようです。全員無事下山しバスに乗り込みお酒を飲みながら和やかな気分で一路流山、千葉方面に向かい無事に到着地千葉へ到着しそれぞれ家路に着きました。

26年度も2回の行事を計画しています。なるべく会員の皆様方が参加できるハイキングコースを考えています。登りたい山や推奨したいハイキングコース等がございましたら是非ご一報くだされば幸いです。

同窓会の皆さん、毎年1歳ずつ年を重ねることになります。日頃から近隣の散歩等で足腰を鍛えて是非ご参加下さる様お待ち申し上げます。

平成26年度ハイキング同好会の行事予定

	開催予定日	開催予定場所(案)
春	4月5日(土)	ウォーキング(湯島、本郷界隈)
秋	11月29日(土)	群馬県藤岡市「桜山公園」冬桜のお花見

ハイキング同好会事務局 駒木 武男 (38E)

電話 0436-63-7724

○囲碁同好会 活動報告

昨年度は毎回10名程度の参加者で推移しましたが、今年度は常連の会員の高齢化により毎回の参加者が5~6名と激減し苦しい1年でした。

各支部での新規参加者の掘り起しが今後の課題です。昨年の鈴木氏に続き今年は大谷氏が逝去、また永年活動の中心であった石井氏を初め立崎氏、川鍋氏の長期療養が重なりました。1日も早い快復をお祈り致します。

今年は最大のイベントである在校生との交流囲碁大会が連絡のミスから、中止となり参加された会員の期待を裏切りお詫びいたします。

そんなこんなで散々な1年でした。今年度の締めは新春大会、賑やかに締めくりたいものです。各支部の皆さん3ヶ月に1回の囲碁同好会に是非御参加ください。

平成26年度の開催予定

平成26年	4月23日(水)	
	7月30日(水)	在校生交流会
	10月22日(水)	
平成27年	1月28日(水)	

囲碁同好会事務局 高橋 健一 (29C)

電話 04-7159-9367

○麻雀同好会 活動報告

第18回麻雀大会を10月26日(土) 参加者32名

場所：千葉市中央区富士見「麻雀・大都」にて開催予定でしたがアベック台風の進路予想が房総半島でしたので24日に実行委員で相談の上大会中止といたしました。(購入済賞品は次回に繰越)

第18回 麻雀大会

平成26年9月27日(土) 麻雀・大都

麻雀同好会事務局 木間 英一 (33C)

電話 047-343-0455

○グラウンドゴルフ同好会 活動報告



第1回グラウンドゴルフ同好会が11月8日(金)千葉市高品運動広場で参加者28名(プレー人数25名)にて開催されました。

天候は快晴(但し、グラウンドコンディションは前日の降雨にて多少の泥濘が有り)の中、深山同窓会会長、藤井グラウンドゴルフ同好会事務局、山本実行委員長の挨拶とルール説明。その後、準備体操で身体をほぐして10時00分ショットガンスタート。2ラウンド終了後全員で昼食。午後の3ラウンド目のプレーを楽しみ、午後1時30分無事終了致しました。

成績は、1位：大川富夫(千葉市東支部)、2位：山本敏雄(千葉市東支部)、3位：大野繁樹(市原市支部)、ホールインワン：6名、延べ13回。

平成26年度の開催は春、秋の2回を予定しています。冬眠から覚めた身体の『運動不足の方』、是非とも御参加の程、お待ち申して居ります。

グラウンドゴルフ同好会事務局 事務局

藤井 孝 (42M)

電話 047-447-3146

木間 英一 (33C)

電話 047-343-0455

千葉工業同窓会は、県下にある9地域支部が本部・支部間の連携をとりながら、母校への助成活動や、会員の親睦を深めるため、それぞれ意欲的な活動をしています。

平成25年度の主な活動を紹介します

平成25年	4月	7日	外房支部定期総会	
		9日	入学式	
		21日	第28回 同窓祭	
		27日	千葉市西支部定期総会	
	5月	12日	京葉支部定期総会	
		17日	常任幹事会	
		19日	市原市支部定期総会	
		26日	総会	
	6月	1日	北総支部定期総会	
		9日	東葛支部定期総会	
		16日	千葉市東支部定期総会	
	7月	14日	千葉市中支部定期総会	
		17日	創立記念講演	
		23日	臨時支部長会議	
		13日	特別委員会	
	10月	1日	支部長会議	
	11月	2日	千工祭	
	11月	23日	千葉市三支部創立20周年	
平成26年	2月	15日	同窓会・学校・財団千工会	3者連絡会
		21日	支部長会議	
	3月	4日	卒業式	
		9日	南総支部総会	

平成25年度 同窓会予算

収入の部 (単位:円)

科目	金額
繰越金	6,739,306
同窓会入会金	1,575,000
助成金	0
同窓会管理金入金	1,000,000
同窓祭会費	200,000
寄付金	0
雑収入	0
合計	9,514,306

支出の部 (単位:円)

科目	金額
名簿作成費	160,000
文化費	200,000
会議費	260,000
通信費	30,000
同窓祭費	220,000
支部助成費	913,000
レク活動費	100,000
環境整備支援	30,000
事務費	100,000
会報発行費	2,300,000
渉外費	300,000
繰越	4,201,306
名簿分担金	700,000
合計	9,514,306

同期会・同窓会・クラブOB・OG会……実施・予定 情報

【実施済み】

- S24E・S25C 浅井クラス会 2013/8/18 三井ガーデンホテル 12名 第24回 佐藤勇吉・古川仁司
- S29EA 10名 連続17回 村田敏夫
- S36MB 2013/10/29～30 君津大江戸温泉 13名 和田 肇
- S37MA 2013/11/15 蘇我 かめや 11名 青木・田子 2回目
- S37MB 2013/11/2 京葉銀行千葉文化プラザ 25名 菊地・齋藤 原則毎年11月最終土曜日

- S39MB 京葉銀行千葉文化プラザ 23名 菅澤 47年ぶり

- S40MA 2013/6/29～30 市原マリンホテル6名(翌日千葉広済堂CC.9名ゴルフ) 白井

【実施予定】

- ラグビーOB会 2014年4月20日(日) 千葉工業高校 千工祭にて
- S29EA 6月初旬 村田敏夫 047-423-7430
- S38年卒3科合同 2014年11月14日(金) 京葉銀行文化プラザ 金子 衛(M3B)・早邊 利子(E3A)

同窓会報基金(平成24年度90万円)のお礼と寄付金のお願い

同窓会支援のため、同窓生の皆様方から多くのご寄付を寄せていただき、まことにありがとうございます。

さて、財団法人千工会は、国の公益法人改革に伴い一般財団法人へ移行したことから、正味財産は公益目的事業以外に充てることができなくなってしまいました。その上、外国債券の運用には為替レートが大きく影響しますので、安定した大きな運用益を見込むことが難しい状況にあります。

そうしたことから、同窓会の運営に対する助成も、かつてのような多額な支援を求められない状況にありますので、同窓会としては、事業運営の見直し、支出の削減、同窓会報基金のあり方等、財政基盤の確立のための方策について、鋭意検討してまいりました。

その結果、従来の同窓会報基金については、同窓会の運営に資するための寄付金に移行し、同窓生の皆様のご協力を得ることにいたしました。

については、厳しい経済環境にあります。下記により寄付金を募りますので、よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

寄付金に関する細則は、千葉工業同窓会ホームページをご覧ください。

◆寄付金の応募方法

①寄付金は、1口1,000円です。

なお、応募口に制限はありませんので、ぜひ多くのご協力をお願いいたします。

②寄付金は原則として、同封のゆうちょ銀行の払込取扱票により振り込んでください。

◆平成24年度同窓会報基金の決算状況

平成24年度は、89万9,411円の寄付が寄せられましたので、これを会報発行費に繰り入れました。

会報発行費の決算額は、231万7,408円となりました。会員皆様のご協力、まことにありがとうございます。

◆平成25年度同窓会寄付金の目標

平成25年度は、100万円の寄付金を目標にしています。

引き続き、同窓生皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

千葉工業同窓会ホームページを開設しました

<http://chibakogyo-dosokai.jimdo.com/>



千葉工業同窓会ホームページを9月に開設しました。本部のお知らせ、役員・組織、事業活動、支部總會・行事、寄付のお願い、同窓会報、規則等掲示してあります。

本部・支部の行事案内の変更・中止を随時変更しておりますのでご利用ください。

千葉工業高校、一般財団法人千工会、南総支部、千葉市西支部のホームページにもリンクしています。是非一度ご覧ください。

同窓会員の状況

	科 別	工業学校					工業高校		総 計
		本 科	第二本科	二 部	補習科	併設中	全日制	定時制	
全日制	工業化学科	562	184	88	44	180	4,276		5,334
	機械科	303	175			183	4,255		4,916
	電子機械科	—	—			—	2,677		2,677
	電気科	288	159			182	5,152		5,781
	情報技術科						1,523		1,523
定時制	電気科							1,119	1,119
	機械科							1,401	1,401
合 計		1,153	518	88	44	545	17,235	2,520	22,751

北総支部長就任のご挨拶

大野 清伍 (28E)



去る平成25年6月1日の北総支部第23回定期総会におきまして、支部長を拝命しました大野清伍と申します。

同窓会は、卒業直後の若者から大長老までの全世代が力を合わせて活動するのが最も望ましい姿です。しかし、現状は、リタイア組が会の主体にならざるを得ないのが実情です。このような状況の下で、支部活動をいかに活性化するか私に課せられた主要な任務と考えております。

まず、第1の課題は会員を増やすことです。これは今始まったことではなく、従来から様々な努力がなされて参りましたが、必ずしも意図したような成果は得られておりません。この課題の解決に対する“特効薬”は見当たりません

ので、あらゆる機会を捉えて、地道に(諦めずに辛抱強く)PR活動を継続して参ります。

第2の課題は会員の老齢化対策です。米国の詩人サミュエル・ウルマンの作品に「青春」という詩がありますが、そのエッセンスは、「青春とは心の様相を言い、年齢に関係なく、理想を持って前向きに生きること」ということです。すなわち、60歳には60歳の青春が、80歳には80歳の青春があるということですから、おのずと元気が湧いてきます。

そこで、支部の活動において“ウルマン流”の雰囲気を感じ出し、年齢に関係なく「より明るく、より元気な北総支部」の実現を目指して努力して参りますので、当支部会員はもちろんのこと、同窓会本部及び他の地域支部等、関係各位のご支援、ご協力を衷心よりお願い申し上げます。

千葉市西支部長就任のご挨拶

湯浅 秀男 (34M)



平成24年夏ごろ、石井孝司支部長が体調を崩され、支部長の職務の遂行ができないという事で急遽私が、支部長代行を務めることになりました。

翌年の平成25年千葉市西支部総会で、支部長に選出され、重責を担うことになりました。何分未熟な私ですが、会員の皆様のご力を得て職責を全うしたいと存じます。

同窓会は会員相互の親睦とあわせて、母校の充実と発展に寄与することを目的に活動を進めております。本年度も、同窓会本部の行事の他に、支部独自の麻雀大会、ゴルフ大会をはじめ千葉市三支部共同企画の、サッポロビールでの暑気払い、房総方面への日帰り研修旅行などを実施いたしました。

本年は、支部創立20周年になり千葉市三支部合同企画で11月23日(土)にホテルプラザ薔の花において、祝賀

会を開催し多くのご来賓と会員のご参加を頂き、感謝申し上げます。

私ごとですが、健康のために、早起きして、散歩を1時間その後町内会のラジオ体操をしております。また、簡単にできるスポーツとして、同窓生に勧められ4年ほど前からグランドゴルフを楽しんでおります。とくに定年退職後は、日常の生活にメリハリを付ける事が大事だと思います。

いまや、平均寿命は男性80歳、女性85歳といわれております。まだ支部に入会されていない皆様は、是非この際入会して頂きたいと存じます。すでに、入会している方は、盛り沢山の同窓会行事に参加して多くの会員と親睦の輪を広げ「明るく元気で長生きしよう」をモットーに大いに頑張ってくださいませ。今後とも、同窓会本部、支部、母校の皆様、ご支援・ご協力をお願い申し上げます挨拶といたします。

千葉市東支部長就任のご挨拶

石橋 暁 (40C)



平成25年6月の支部定期総会におきまして、吉田前支部長の後任として千葉市東支部長を拝命しました石橋 暁(さとる)と申します。私は就任するにあたり、モットーとしまして「明るく、楽しく、元気よく、」を掲げ、意気盛んに活動して参る所存です。

当支部では懇親会を通じ、会員相互の親睦を計ると共に、同窓会本部主催、並びに千葉市3支部共催の各種行事には積極的に参加しておりますが、そのなかにおいて、支部長として課せられた私の役目としましては①先輩、同輩、後輩とのパイプ役として、コミュニケーション作りを断つこと、具体的には会員の誰もが参加し易い環境作りをして参ります。②としまして、若手会員増に努めること、

殊に生実校舎卒業生諸君には是非とも管轄地域の千工同窓会支部にご加入戴きたいものと願っております。門戸はいつでも開かれております。気兼ね無く、お気軽にどうぞ!と、申し上げます。「来たれ!生実卒業生諸君。」③に「千葉工業を卒業して本当に良かった。」と思っただけで戴ける様な支部作りに努めて参りたいと考えております。即ち、各種行事にできるだけ参加して戴ける様なPR活動を進めていくことが大事である、と心得ます。以上、3項目を軸に、掲げたモットーを念頭におき、任期一杯努める所存です。

今後とも千葉市東支部に対しまして、ご支援ご協力を賜ります様、お願い申し上げますと共に、千工高の学舎で勉学に勤しむ学生諸君のご健勝、千工同窓会、及び母校の益々の発展を祈念いたしまして、新支部長挨拶といたします。

支部トピックス紹介

年月の流れは早く千葉工業同窓会報は第25号となりました。昨年は竜巻、豪雨、酷暑等の異常気象、東京オリンピックの招致がありました。4月には消費税アップが予定されています。地域支部においては、千葉市3支部が4月に統合になり、7支部となります。各支部の活動は多岐にわたっています。お尋ねは各支部長にご連絡ください。お待ちしております。今号より支部日よりから支部トピックスに変更しました。

各地域支部 定期総会開催予定 (千葉工業同窓会ホームページに掲載)

支部名	開催月日	開催場所	地域
① 南 総	3月 9日(日)	君津市 ホテル千成	館山市、南房総市、鴨川市、鋸南町、富津市、君津市、木更津市、袖ヶ浦市
② 外 房	4月 6日(日)	東金市 八鶴亭	勝浦市、御宿町、大多喜町、いすみ市、睦沢町、一宮町、長南町、長生村、白子町、茂原市、長柄町、大網白里市、九十九里町、東金市、山武市、芝山町、横芝光町
③ 千葉市	4月27日(日)	千葉市 ホテルプラザ葉の花	千葉市全域
④ 京 葉	5月11日(日)	船橋市 割烹 玉川	船橋市、習志野市、鎌ヶ谷市、八千代市
⑤ 市原市	5月18日(日)	市原市 五井グランドホテル	市原市全域
⑥ 北 総	6月 1日(日)	八街市 角屋ホテル	四街道市、八街市、佐倉市、酒々井町、富里市、白井市、印西市、栄町、成田市、神崎町、多古町、香取市、東庄町、匝瑛市、旭市、銚子市
⑦ 東 葛	6月 8日(日)	我孫子市 鈴木屋本店	浦安市、市川市、松戸市、柏市、我孫子市、流山市、野田市、県外

※開催場所・月日は変更がある場合があります。各支部または千葉工業同窓会のホームページでご確認ください。

支部トピックス○数字は定期総会開催日の順番、支部長名、連絡電話番号、地域、総会開催日、総会場所

①南総支部トピックス

支部長 齊藤 誠一郎 (37E) 電話0439-52-3059

●地 域／館山市、南房総市、鴨川市、鋸南町、富津市、君津市、木更津市、袖ヶ浦市

●定期総会／平成26年3月9日(日) 君津市 ホテル千成

南総支部のフェイスブックを開設しました。

編集長 溝口 孝博 (H3EM)

南総支部では10年程前からホームページを開設しています。ここ数年大きな更新をしていませんでしたが、2013年2月、ホームページでは、支部紹介、支部規約などの情報だけを掲載・縮小していますが、行事の案内・報告など最新の情報を掲載する為に「フェイスブック」を開設することにしました。

「フェイスブック」とは最近よく聞くSNS (Social Networking Service)の一つで、企業や団体、政府機関も使用している情報発信ツールの一つと思って頂けたらと思います。

特徴としては、主にタイムラインという時系列で投稿が表示され、記事が現在から過去へとさかのぼって見ることが出来ます。また、写真や動画も投稿でき、南総支部では主に行事案内や報告などわかりやすく表現できるので利用しています。

問題点として、個人がインターネット上でフェイ

スブックに登録していないと「いいね！」やコメントが出来ない、過去数ヶ月分の記事しか見る事が出来ないなど、制限がありますが、毎日・毎週見て頂ければ、ホームページと同じように、最新の情報を見る事が出来ます。

フェイスブックに登録している人は、是非「いいね！」や思い思いのコメントを頂けたら嬉しいと思っています。

「南総支部フェイスブック」を見るには

千葉工業同窓会 南総支部 で 検索 して頂き
千葉工業同窓会 南総支部 Facebook が表示されますので選択してください。

アドレスは

<http://www.facebook.com/chikounansou>

南総支部では、3月に総会、5月に潮干狩り、8月に木更津港まつり花火大会見物、11月に秋の観音宿泊旅行、また、各地区の懇親会、集ろう会など開催しております。皆様のご参加をお待ちしております。

②外房支部トピックス

支部長 市川 新一 (38M) 電話/0475-23-1047

●地域/勝浦市、御宿町、大多喜町、いすみ市、睦沢町、一宮町、長南町、長生村、白子町、茂原市、長柄町、大網白里市、九十九里町、東金市、山武市、芝山町、横芝光町

●定期総会/平成26年4月6日(日) 東金市 八鶴亭

白井 昌 (37E)

外房が誇れるもの、世界に向けて輸出できる貴重な国産資源「ヨウ素」を紹介します。

カラオケの歌い過ぎで喉が痛いとき、うがい薬「イソジン」でアッと驚くほど早く治った経験がないでしょうか？ またコードチェンキで切り傷を手早に完治。そうです、実は世界的に希少であり貴重なヨウ素が外房一帯の大地の下に「天然ガス」と「ヨウ素」として存在しています。正に地球からの“貴重な贈り物”です。

ヨウ素は南米のチリと日本が世界の主な生産国で、日本は世界生産量の約35%。日本における大部分は九十九里外房地帯で生産されているのです。本校OBも多い会社「関東天然瓦斯開発(株)」がその生産拠点です。

生体必須微量元素として人類や動物の生存、成長に欠かせないのがヨウ素です。日本人における適正量摂取には海藻や魚介類から摂取できますが、そうでない大陸内部の国などでは、摂取できないとヨウ素欠乏症で発育不全や甲状腺腫など深刻な問題を起こしてしまいます。

生産されたヨウ素の大半は世界各地に輸出されています。ヨウ素は天然ガス井戸からガスと一緒に出る「かん水」

から生産されます。地中500m~2000m位の深さに水溶性天然ガスの状態で、地下水とともに存在します。300~40万年前にできた地層中に、ガスとともに存在した塩分を多く含んだ水が「かん水」です。地層中からガスとともに吸上げられる「かん水」には海水の2000倍ものヨウ素濃度があります。それを分離しヨウ素(0.1g/1kg)を抽出製造しています。精製ヨウ素の比重は重く4.93。

最近のヨウ素の用途はレントゲン造影剤、殺菌防カビ剤、工業用触媒、医薬品、液晶関連(液晶パネルの偏光フィルター等)などで今後ますますハイテク分野でも活用が期待されています。

昨年4月、いすみ鉄道大多喜駅前「天然ガス記念館」がオープンしました。ガス採掘の歴史とメカニズム、ヨウ素の活用などを学ぶことができます。ぜひ外房においでください。写真はガス井掘削の様子



④京葉支部トピックス

支部長 川村 義郎 (40M) 電話/047-451-0247

●地域/船橋市、習志野市、鎌ヶ谷市、八千代市

●定期総会/平成26年5月11日(日) 船橋市 荻原 玉川

京葉支部の一人を紹介します。宇野 昭房 (34M)

YS-11からB767旅客機まで、キャプテン(機長)を務めANA東京空港副支店長で退職した男(34M鈴木偉夫氏)のお話です。

小、中学生のころから航空関係の雑誌を見て高校生の時に航空大学校を知り、入学条件の一つである教養課程修了を目指し、千葉大学を経て念願の航空大学に入学する。

操縦適性など厳しい難関を突破・卒業生総代で答辞をする。筆者も当時テレビニュースで放映されびっくりした記憶がある。

後日、本人に聞いただと「運番だったから」と切り捨てられた(それも強運だと思うのだが)。昭和38年10月全日空ANAに入社する。中型機ながら四発のヘロン機で大島空路を皮切りにフレンドシップ機、B727に搭乗。30歳でYS-11キャプテン(機長資格取得)B727の機長にもなり、2機種搭乗もやりL1011トライスター機長となる。

トライスターと言えばDC10と争う事件を思い出すが、DC10は後日貨物ドアが吹き飛び100名以上の犠牲者を出すこととなった。結果、堅固で操縦性能もいいトライスターで良かったという。

その後、査察機長資格取得(法律に基づき運輸省の審査試験官が機長の査察をする=トップである機長を試験する厳しいもの=委託されて機長査察をしたこともあるという=嫌われる仕事とか=しかし機長の格は最上位)50歳でB767のキャプテン(事業用航空機は機種ごとに操縦免許が必要=体力的&新たな勉強も大変だったという)。

地上職では新本で主席教官、東京乗務員室業務部長6年、55歳で運輸大臣表彰、ANA東京空港副支店長2年を経て定年退職。3年ほどシミュレーター教官をして後輩を育成する。搭乗時間約19000時間。そのうちキャプテン13000時間になるという。

空からの眺めを聞いてみるとインド・デリー空港に向かったフライトでヒマラヤ山脈を眺めた時、最高の感銘を受け、いまだに鮮明に覚えていると目を輝かせた。

エピソードはまだまだいっぱい聞きたい人は京葉支部へどうぞ。



⑤市原市支部トピックス

支部長 大野 繁樹 (36M) 電話/0436-74-5753

●地 域/市原市全域

●定期総会/平成26年5月18日(日) 五井グランドホテル

顧問 山田 俊雄 (28E)

市原市は市制施行後、昨年で50年経ちました。昭和38年5月市原郡五井、市原、姉崎、市津、三和の5町が合併し市原市が誕生しました。さらに昭和42年10月に南総町、加茂村が合併して今の市原市になりました。

私が川崎市富士電機から八幡海岸に進出した千葉工場にリターンしたのが昭和38年3月でした。まだこの地が市原郡だったことを覚えています。元同窓会長の安藤信吉さんとは支部総会の席でよくお会いしました。安藤さんは市原郡八幡の出身だから、懇親会の席で気分が良くなると「よー市原郡」とひやかされました。

市原支部が誕生したのは、実は昭和46年10月4日でした。設立総会には母校のプラスバンドも加わって盛大に開催されると支部会報第1号が報じています。その後、支部活動は休眠状態に置かれ、平成6年10月2日再建総会が開催され市原市支部として再出発しました。二代目の高橋喜久雄支部長は支部会員勧誘のため進出企業内の千工会の役員に接触してきました。そして何度も打ち合わせの会合に呼ばれました。私も現支部長の大野繁樹さんもその一人で、当支部も今年10月で無事に再建後20年目を迎えます。

す。一同楽しい支部活動をめざしてがんばっています。同窓会のみなさんにもお力添えをいただきますようお願いいたします。

市原市の歴史を少し。平安時代、上総の国の国府が市原市に置かれていました。今風の県庁でした。上総の介(県知事並みの地位)は菅原高標(すがわらのたかすえ)で、はるばる京から任ぜられてきたのです。市原市は近年、秋に「上総いちはら国府祭り」を開催しています。時代絵巻行列、神輿、フラダンス等々が主な出し物です。

ついでに、「更級日記」に触れておきます。更級日記の作者は菅原高標女(すがわらのたかすえのむすめ)で、その読み通り高標の娘です。父高標とともに上総の国に来た高標女が任期満了で京に帰任する道すがらを思い出として書き記したものです。更級日記の冒頭は市原の地を離れ上総と下総の国境の村田川を渡って下総の国に足を踏み入れる様子が克明に記述されています。ちなみに五井駅東口に「更級」の地名があるので、市役所に問い合わせたところ、区画整理でつけられた地名であることが分かった。更級日記からチャッカリいただいたに違いない。

⑥北総支部トピックス

支部長 大野 清伍 (28E) 電話/0476-98-3145

●地 域/四街道市、八街市、佐倉市、酒々井町、富里市、白井市、印西市、栄町、成田市、姉崎町、多古町、香取市、東庄町、匝瑺市、旭市、鏡子市

●定期総会/平成26年6月1日(日) 八街市 角屋ホテル

女性同窓生のつぶやき 北総支部 古川 千枝子 (38C)

卒業して51年が過ぎようとしています。同窓会北総支部に入会して20年、5年程支部会報「ほくそう」編集に携わりました。今「千葉工業同窓会会員名簿21年」を開いています。女性同窓会員(昭和年代)を数えてみると約100名程居られます。「住所不明」も多く結婚による改姓の為と思われる。38卒以前に3名、その後6名、5名と数名ずつ卒業されたと思っておりましたので意外に少数。平成に入ると大勢になりますね。是非早めの人会をお待ちしております。

現在、支部同窓会の女性会員は、北総支部3名と京葉支部4名、ここには初の女性卒業生「小林(織田澤) 油子さん」が居られます。北総支部では3人とも「佐倉地区」に属し、支部レク行事や地区集会に参加します。その他に「3人の会」女性だけで食事とお喋りを楽しんでいます。お喋りの輪に入りませんか？

一昨年の「同窓祭」にH7(EM)の女性2名が参加されました。「松本校長先生にお会いしたくて」と話されたと聞きました。女子生徒にとって「校長先生」は特別なのです。私も「景山校長先生(故人)」にお会いしたくて北総支部総会に行きました。先生は必ず御出席下さいました。支部総会に

は歴代の校長先生方がお見えになられ、それは楽しい一時です。

北総支部 脇田 みどり (39C)

「千葉工業同窓会北総支部」で副支部長の古川千枝子さんは、在学中は応用学科の1年先輩、また仕事に就いても同じ会社の研究所の1年先輩という関係でした。当時は結婚退社が主流で、それぞれ退社しその後疎遠にしておりましたが、数年前細い糸が繋がってお声を掛けて頂き、佐倉地区会員の1人となりました。

そんな折、偶然が重なって39C同級会の三井かつ子さんから連絡を頂き、数十年ぶりに再会しました。そして昨年6月、北総支部定期総会が開催されたのですが参加が叶わず、がっかりしておりました所、古川さんから女性会員で集まりましょうかと提案がありました。古川さん、三井さん、脇田の3人でランチです。当日はちょっとお酒落なイタリアンレストランで、美味しいお料理に舌鼓を打ちながら楽しいお喋りに花を咲かせました。話はあちらに飛び、こちらに戻りまた飛んで、尽きるという事もなく、忙しい日常を忘れて身も心も軽くなった1日でした。

⑦東葛支部トピックス

支部長 吉田 勝彦 (32E) 電話/04-7191-0232

●地 域/浦安市、市川市、松戸市、柏市、我孫子市、
流山市、野田市、県外

●定期総会/平成26年6月8日(日) 我孫子市 鈴木屋本店

土屋 孝夫 (34M)

猛暑が続いていた昨年7月13日(土)、計画を立てながらも実施出来なかった「バーベキュー会」が、会場を清水公園に移して開催された。

清水公園は野田市にあり、東武清水公園駅から徒歩約10分のところで、28万㎡の広さを有する自然公園。明治27年茂木家(キッコマン創業の一族)の先人が建設した庭園を町の人々に開放した民営の公園で、園内にはフィールドアスレチック、キャンプ・バーベキュー場、ボニー牧場、アクアベンチャー、花ファンタジアなどの施設(有料)が設けられている。

園内一角にある慈光山金乗院は、室町時代の足利義時の頃(1398年)に京都醍醐寺の修行僧であった「宥秀上人によって開山された」とあった。

今回のバーベキュー会開催にあたっては、場所の設営及び使用器具などで、滝口常任幹事と奥様の絶大なるお骨折りをいただき開催することが出来ました。調理器具は有料で貸出しもするが滝口常任幹事が用意さ



れ、食材の販売はないのでこれも調達してもらおう。ビールなどの飲料は管理棟で販売されていた。

会場では、家族連れや若者たちのグループがあちらこちらの場所で、大いに盛り上がり楽しんでいた。

昨年は梅雨明けが早く連日猛暑日が続き、当日も上気度で暑い日となったが、樹木に囲まれた場所は陽射しも遮られ、涼しい風もあり絶好のバーベキュー日和となった。参加者が10名と若干少なかったが、反面まとまりが良く楽しい飲み食いが出来たことは何よりだった。

③千葉市西支部トピックス

支部長 湯浅 秀男 (34M) 電話/043-271-6661

●地 域/千葉市美浜区・花見川区・稲毛区

●定期総会/平成26年4月27日(日) 千葉市 ホテルプラザ菜の花
千葉市支部に統合

副支部長 藤川 幸雄 (37E)

西支部の現状<管内は千葉市花見川区、稲毛区、美浜区で、JR総武線、JR京葉線、京成線、高速道(京葉道路、東関東道)、花見川、稲毛の浜、検見川ヨットハーバー、幕張メッセ、ロッテマリン球場、そして旧検見川校舎(石碑)と無線塔跡、稲毛浅間神社(お神楽有)、管内園作成>

平成5年1月にJR千葉ペリエにて発会式を挙げてから20年が経ちました。会員は発会式当時95名で、多い時は112名に増えましたが、現在は減少し70名です。なお、会費は3,000円(未納者なし)、名簿は22年度版を全員配布済み(25年度版作成検討中)、会報も配布。

組織構成は支部長を中心に副支部長(4名)、事務局長(湯保)、常任幹事(6名)、会計監査(2名)、各地区長(花見川・稲毛・美浜)～現在不在、なお、顧問(3名)と相談役(3名)です。

会報【ちばにし】は35号を発行済みで、年2回の発行が18年度から予算等の関係で1回となっております。掲載内容は、巻頭言(会長)、総会(会計含む)報告、レク活動報告(研修旅行、麻雀、ゴルフ大会、忘年会等)、紀行文や趣味、追悼文(亡き諸先輩を忍ぶ)です。

総会は4月27日(土)ホテルプラザ千葉「菜の花」(県庁前)にて、「楽しく、元気で、長生きしよう」を合言葉に実施(以前は1月に開いていた)。出席者36名(来賓、本部長代理、学校長、勤労工合理事長を含め)、司会、議長選出、5議案審議・承認、役員改選・新役員選出、来賓祝辞(3名)、記念写真撮影、その後懇親会(代表挨拶、乾杯、各支部代表テーブルスピーチ、カラオケ、三校歌斉唱、エール実施。(会費5,000円)



<25年度の主な行事>
★9/7、懇談会(於:庄や新検見川店)
★11/23、千葉市3支部合同20周年祝賀会(団子3兄弟で親しんだ)
★千葉市3支部統合検討会⇒千葉市支部発足準備
★行事・レクリエーション計画の対策、検討
★会員増員対策の実施

③千葉市中支部トピックス

支部長 古川 仁司 (25E) 電話/043-227-4076
●地域/千葉市中央区全域
●定期総会/平成26年4月27日(日) 千葉市 ホテルプラザ菜の花
千葉市支部に統合

「光陰矢のごとし」と申しますが、20年経つのは早いものです昨年(平成25年)11月23日に千葉市3支部創立20周年祝賀会を開催致しました。同窓会会長深山氏、各支部の方々、千葉工業高校國馬校長、元校長先生方々のご臨席を賜り盛大に行われました。

千葉市中支部報創刊号(平成5年7月30日発行)を見ますと、初代支部長佐藤勇吉氏は千葉市中支部報発刊のことばで次のように述べております。

「私ども千葉市は同窓生総数の30%であります5000余名を擁するマンモス支部でありましたので、適切な規模に分割して同窓会活動をより活性化することが永年の課題でありました。昨年(平成4年)の4月、千葉市が政令指定都市に移行し6区制となりましたので、このチャンスに同窓会も3支部に分割することとなり、私どもの中央区は「千葉市中支部」として本年3月に同窓生有志の方々の協力により結成されました。それでも同窓生1700余名の大型支部です。これから同窓生の心を繋いで千葉工業同

窓会らしい会にするため、支部役員の方々と力を合わせて微力を尽くしたいと思っております。」

あれから20年になりますので同窓生の数は更に多くなっているはずですが、しかし支部に入会する人はほとんどおりません。余暇の過ごし方も多様化し、個人で、あるいは気の合う仲間と過ごす時間の方が気楽で良いと思っている方が多いのではないかと思います。

平成25年度の支部総会で古川顧問が支部長に選出され再任することとなりました。古川支部長は80歳を超えらるご高齢であり、他の役員も古希を過ぎた方々で、高齢者による支部運営を余儀なくされております。このままでは支部の存続が立ち行かなくなるだろうと危惧されます。このような状況下で、昨年あたりから、行事を行うたびに、3支部会員から統合に関する話題が出てまいりました。平成25年初の3支部幹事会において平成26年4月に統合することが決定いたしました。

③千葉市東支部トピックス

支部長 石橋 暁 (40C) 電話/043-421-1850
●地域/千葉市若葉区、緑区
●定期総会/平成26年4月27日(日) 千葉市 ホテルプラザ菜の花
千葉市支部に統合

千葉市東支部は、千葉市の若葉区、緑区を対象範囲とする支部です。千葉市3支部の中では会員数が40人足らずと最も少ない支部です。しかし、3支部で共催する行事のグランドゴルフや、バス旅行の出席はいつもトップクラス、少人数ながらもまとまりの良い支部だと自負しております。多くの行事は千葉市3支部が共催で実施していますが独自の催しとしては1月の新年会、8月暑気払い、12月の忘年会と専らノミニケーション主体ですが、毎回の参加者は15、6名といったところです。他にも6月に実施する支部総会は大きなイベントの一つです。総会は作成、配送する資料が多いため役員と有志が総出での作業となりこれがコミュニケーションの場にもなっています。

ここで9月に開催した暑気払い兼役員会の模様を紹介します。当日の参加者は15名でした。約40分支部の運営方針などについて支部長、事務局から連絡の後今年役員の改選があったので参加者全員の1分間スピーチを実施。ここでは生まれてから現在までの主なトピックスが語られました。特に感じたことを2~3記してみますと皆さん多種多様な生き様で今日を迎えていることが分かります。戦争末期の混乱の中を生き抜き昭和21年卒業されたTさんの話は現代の私たちが語り難いで行かなければならないことと感じました。又、今年特別会員として支部に入会された元校長のMさん飲み会は可也お好きな様子で、8月に実施したサッポロ

ビール見学の後の2次会では携帯電話が行方不明になるアクシデントがあったとか、母校の状況等の情報は大変詳しく、情報通の支部長も恐れ入る次第でした。其のほか会員のスピーチでは地元自治会の役員として活躍されている方、様々な病魔と闘われ御苦労の上、今日の健康を手に入れられた方、奥さんの病氣看護のため奮闘される方、宴会でも酒は一滴も飲まないのにこの会には欠かさず出席されストレス解消法は社交ダンスと語るIさん。既に奥さんを亡くされ一人気ままな生活を送られている方もちらほら、合気道で今も後輩の指導に当たられる方、今も現役で会社経営をされる方などなど様々な生き様を持った人たちの集まりとなっています。



千葉市3支部創立20周年記念祝賀会が開催される

野村 隆男 (35E)

秋も深まった11月23日千葉市3支部創立20周年記念祝賀会が千葉市内のホテルプラザ菜の花で開催されました。

千葉市3支部が設立され、揃って20周年の節目を迎えるの記念式典です。3支部は“団子3兄弟”(未實のお言葉)と言われるように多くの同窓会行事を共催で行ってきました。3兄弟とはいえ独立した支部の集まりですから共同で行う式典はそれなりに調整事項が多く有り、9月頃から実行委員会を立ち上げ計画が進められてきました。

当日は総合司会「布施敏雄氏(41E)」の進行で式典が進められ、開会の言葉⇒主催者挨拶と進み、この20年間に3支部の運営等に功績のあった6名の方々に吉田実行委員長(33M)から感謝状と記念品を贈り、お礼と感謝の意を表しました。続く未實のあいさつでは、24名の未實(学校長、同窓会本部、財団千工会、県内各支部の代表)を代表して國馬現学校長、深山同窓会長、財団小池理事長、の3名から祝辞をいただきました。ここで学校長からは平成28年度から母校に進学を目的とした“理数科(仮称)”が設立されること、今年度から千葉県下の学校コンソーシアムの拠点校に指



創立20周年



定され活躍している等が紹介されました。其のあと出席者全員で校歌を斉唱しました。3支部および各支部からの出席者の圧倒的多数は津田沼校舎卒業生ですが、校歌は国歌と同様唯一無二のものである、との先輩の理論から校歌と言えば“生実”なのだそうです。

続いて、14代校長の永峯先生のご発声で乾杯が行われ、アトラクションに入りました。ここでは、相横甚句「湯浅松さん(38M)」, 詩吟三題「古野一男さん(34M)」, 小川文哉さん(18M)「小池忠良さん(38E)」, 「石橋邦夫さん(33E)」による朗唱と実声が披露されました。続いて東支部ではおなじみになっている「嶋村英男さん(30E)」による“大江戸ますだれ”の妙技が披露され大喝さいを受けました。更に応援出演の外房支部有志7名とフラダンス(女性)5名のハワイアンミュージックが生演奏されました。女性陣によるフラダンスが演奏に花を添え、会場は大いに盛り上がりを見せました。



1時間余りの宴席は瞬く間に過ぎ去り、締めめの時間となり、古川実行委員長(25E)により3本締めの手打ちが行われ会はつつがなく終了しました。尚、千葉市3支部は冒頭の吉田実行委員長の発言のとおり、平成26年度からは“千葉市支部”として統合し活動を続けることになっております。皆様のご支援宜しくお願いいたします。

先代、京成スカイライナーを設計した男のつれづれ話

宇野 昭房 (34M)

主人公は34M卒業の湯浅秀男氏である(本人の写真は千葉市西支部長あいさつに掲載)。

京成電鉄では、昭和27年に特急開運号1500型が京成上野～京成成田に運行開始、翌年1600型ロマンスカーを運行して以来20年ぶりとなる昭和47年にAE1型特急車両が



製作され、設計係員の一人として従事した。

時まさに成田空港建設反対運動が盛んな頃、社内にも反対運動をするものがあったが、自分達は職分として車両設計にあたった。

空港特急の愛称は全国の小学生から募集しスカイライナーと決定、空港開港が遅れたため昭和48年京成上野～京成成田間の特急として運行を開始した。

昭和49年8月には鉄道友の会よりブルーリボン賞を受賞、昭和53年5月20日成田空港が開港、成田空港特急として営業運転を開始した。

平成元年、新しい特急車両を製作することになり設計の主役を担うことになる。社内の特急車両製作プロジェクトチームが結成され製作検討に入った。新スカイライナーは21世紀を見据えた斬新なデザインと安全・迅速・快適な輸送を提供するにふさわしい車両としてAE100型と決まった。

車両の前面形状が社内会議で決まると一編成の旅客定

員を決定し、車両全体の仕様を決めて個々の機器メーカーと設計打合せ、納期を決定し、各機器を車両に取付け車両メーカーで完成検査を実施する。

JR貨物線で京浜急行の車庫に搬入後、夜間京成の牽引車で車庫に搬送され再び編成して試運転を準備する。本線で性能試験をして確認後車両メーカーから引き渡しをうける。

設計責任者として苦労したことは、特急車両の製作という事でいろいろ意見が出て、なかなか決定されなかったこと。一方、夏季輸送に間に合わせることに加えて製作に1年半位かかるころ、ほぼ1年の完成目標に工程管理は難しかったという。

また、車両がVVVFインバータ制御であるため、車両確認申請を国土交通省に提出した際、担当官に説明し特に

踏切制御に対する誘導障害についての質問があり、後日検証データを提出して説明したという。

今回デザインの観点から車両にスカートを履かせることになり電子機器の温度による影響が大変懸念されたが、クリアできて良かった。

特急車両のモデルチェンジは、10数年にしか行われないので、設計を担当することができたことは、光栄で良い思い出となりましたと語る。

【湯浅氏略歴】 昭和34年機械科卒業、同年京成電鉄入社。翌年千葉工大電気科入学、検車業務・車両部計画課・通勤冷房車の設計・再び車両部計画課でAE100型設計責任者・北総鉄道出向

ラグビー部60周年

中村 勇三郎 (38M)



こんにちは、昭和38年卒の中村 勇三郎です。まずは梅山薫先生の話です。我々が入学した年に赴任され、卒業時に故郷の群馬に戻られたので、我々が丸々3年間熱血指導を受けました。梅山さんは、我々と丁度10学年違いだったので信頼できる兄貴分の存在でした。

卒業後も毎年夏に梅山ファミリーとの交流を図り、梅さん亡き後も奥さん・息子家族との交流を続け早や半世紀となります。この写真は、我々が60歳の還暦を記念してスイス旅行の折、レマン湖でのスナップです。旅行後1か月もしない内に天国に旅立たれるなんて思いもありませんでした。ラグビーの持つ魅力・素晴らしさを事ある機会に熱く語る姿は、今でも脳裏に浮かんで来ます。

さて続いてベストプレイヤー賞のスピーチに入ります。ラグビー部の卒業生で社会人としての成功者は、大勢いらっしゃいますけど、今日はラグビー部60周年の席なので先輩幹事より、「中村 お前が話せ」と私にお鉢が回ってきたのです。

私は、トヨタ自動車・法政大学・リコーと、幸いにも常に日本一を争うチームに所属する事が出来ました。これは千葉工業からトヨタに入社した「いきさつ」抜きには、語れません。3年時の春季関東大会に於いて、我々の試合をトヨタから選手推薦の依頼を受けていた関東ラグビー協会の役員が観戦しておられ、私がたまたま目が留まった次第です。

当時の春季関東大会では、千葉工業は常に東京都のトップチームとの対戦を強く希望し、実施そうしていました。

これは当時の村越・梅山両先生がマッチメイクを強く働きかけていた事と、実力的にも遜色ないチームと評価されていた事に他なりません。上位校同士の好試合で無ければ、ラグビー協会の方との出会いが無かった訳で、私は村越・梅山両先生並びに、強豪チームを維持してくれていた先輩に改めて感謝申し上げます。

当時の千葉工業は、自他共に認める優秀校で就職先に苦労する事は全く無かった時代です。私は「トヨタ」からのオファーに応じ社会人の強豪チームへの道を選びました。トヨタでは本来のポジションであるセンターでなく、ウイングで起用されました。が、2年目の全国社会人大会決勝戦で突如メンバーから外されました。「なんで？」と自問自答を繰り返しましたが、最終的に更にラグビーを追及したい欲求に駆られ、その年度の大学日本一になった法政大学への進学を決めたのです。

トヨタでの約2年間は、ラグビーに関して大変な刺激を受けました。一緒に入社した法政大学出身の尾崎真義さんは、オールジャパンがジュニアオールブラックスを唯一破った時のキャプテンです。私が尊敬する、その尾崎さんはオフシーズンであっても、毎日ランニングを欠かさずにする姿を見て、私も見習いました。

法政大学では、ウイングでなくセンターでの道を選択しましたが、パスの基本がなくなって、徹底して基礎練習をせざるを得ませんでした。高校時代のコンビを組んでいた岡谷・岩崎には、「よく俺のパスを落さずに受けてくれた」と今更ながら有難く思います。そんな中で1年時に公式戦2試合の出場を果たし2年時からは、レギュラーの座を獲得できました。3年時に大学日本一となり4年時は、ディフェンディングチャンピオンチームの主将として大会に臨むも、準決勝で敗退し、大学選手権制度スタート以来続けてきた決勝戦進出を5年目にして逃す結果となり痛恨の極みでした。

大学卒業後のリコーでは、日本一を2度も経験することが出来て、本当に恵まれたラグビー人生を送れたと思っています。

私は高校・大学・社会人の4チームに所属したので今でもそれぞれのラグビーマイトとの交流を当然持っていますが、一番の友は今日ここに六人全員が出席している高校の仲間です。ラグーマンの結束の強さは、他のスポーツと比べ圧倒的なものがあります。前方にパスが出来ないラグビーの特性から、FWから供給されたボールをBAXは1ヤードでも多く前進しダウンボールの時は、FWがヒールアウトしやすいダウンボールを心がける、いかなる状況にあってもフォアザチームに徹して、「ワンフォアザオール・オールフォアザワン」の言葉に代表されるスポーツなのです。トライしたプレイヤーは、単なるフィニッシャーであって決してヒーローではない。

こういうマインドに徹したラグビーが大好きで、今でも

40歳以上のラグビートームで、毎日曜日に試合又は、練習をしています。

最後に現役ラグビー部員に言いたい、先ずは数あるスポーツの中から、こんな魅力を有するラグビーを選択して来て有難う。一生懸命に取り組めば、必ずや強固な人間関係を構築できる楽しみがあります。今日は先輩達が千葉県下で切り開いてきたトップチームへの道を再確認出来た事と思います。

易祥青さん、部員減等の苦しい現状を自らの手で打開してもらいたい。みんなの背後には、こんなに大勢のOBが付いています。

やりぬく気力とプライドを忘れずに、この難局を乗り切っていく事を期待します。

感動の出会い、をありがとう！ 54年前の卒論に再会「ペルトン水車」

金子 賢二 (34M)



前列右から筆者、大徳秀雄、斎藤津夫



ペルトン水車と筆者

昭和34年3月に津田沼校舎を卒業以来、「このとき、を胸中に抱えて本校訪問が叶う日を持っていました。そして一昨年、東葛支部から千葉工業同窓会広報編集委員の要請があって「本校を訪ねることが出来るかも…」という思いが頭をよぎり受諾しました。

「このとき、とは、54年前の卒論で3年間の経験を体現してみようと考え、先生方に相談してペルトン水車の模型を設計から製作までやることにした。木型・鋳型作り、鉄やアル合金(バケットに使用)を溶かして鋳物を作り、天井から下ろした長いベルトが動力源の旋盤を回してバケット取付け盤や軸、水圧を上げるノズルを作り・ネジ山を削る。何度か失敗作を出しながら製品を仕上げる困難さを知った。最後に組立てが終り、水道水をビニールホースでノズルに直

結、水圧を徐々に高め、バケットに飛ばして勢いよく回転した瞬間「やったー！」と3人で肩を叩き合って喜んだ。

その模型が本校移転の時に、学校職員となっていた同級生小林一臣氏の機転によって運び出されて資料として保存されているようだとの話を聞いたのが約2年前。何とか「思い出との再会を遂げてみたい」との思いから一緒に製作に携わった斎藤津夫氏に相談したら、当時の写真を持っていることを知り送ってもらった。

写真には、われら3人と製作過程で多大な指導と協力をいただいた先生方も写っていた。私の記憶にあるペルトン水車を半世紀ぶりに見て感慨深いものを感じ、必ず実物に会いに行こうと決めた。そして一昨年9月、「このとき、が実現したのです。

第1回編集委員会の当日、「思い出に会える」を期待して愛車の助手席にデジカメを携えて我家を出発して約1時間。本校の坂道を上った時には、胸の動悸が少し早まってきたようにさえ感じた。玄関口で学校職員に「千工会館」を教えもらった際、意を決して持参の写真を提示し、「このペルトン水車の模型が本校に残されていると伺っているのですが、どうでしょうか？」と訪ねた。職員が「調べてみます」と写真を持って行かれたので、「もしや？」を期待しつつ会議に臨みました。

約2時間の会議を終え、千工会館を出たところで「先程のモノがありました」と告げられた。「本当ですか」と聞き返したのは覚えているが、胸が熱くなり次の言葉が出なかった。職員さんの後に着いて会議室に案内され、「こちらです」と紹介されたテーブル上を見て身体に衝撃を受けた。54年前の面影を残している「あの作品」が目の前にあるのです。一瞬、近寄り難さを感じたが、もう案内してくれた職員さんも目に入らず、小走りになって模型に触れた。「あーっ！これだ」。鋳物の感触を確かめ、あちらこちらの角度から写真を撮りながら「あの当時、を思い出していた。

「卒論」に再会できた瞬間の感動は生涯忘れられません。ありがとうございます！



世界で活躍する オートバイレーサー 青山博一(平12EM)・周平さん兄弟 母のまなざし 命がけ 祈る無事

2013.2.5 東京新聞千葉版より

子どもが出るレースの前は、いつもどうしていいのかわからなくなる。胃が痛くなり、落ち着いていられず、何度もトイレに行く。「よく、心臓が口から飛び出そうと言うんですけど、本当にそんな感じですよ」。2人の子どもをバイクに乗せる青山明美さん(55)は、そう言ってほほえんだ。



兄弟の子ども時代のことなどについて語る母・明美さん

息子の博一(31)と周平(28)は、二輪の世界で名をはせる。兄の博一は2009年のロードレース世界選手権250ccのチャンピオン。弟の周平はデビュー戦から無敵で優勝し、11年に最優秀新人賞を受賞したオートレーサー。どちらも幼いころからサーキットを居場所としてきた。

きっかけは博一が6歳のとき、父・昇さん(57)がポケットバイクに乗せたことだった。昇さんは独身時代にモトクロス経験がある。「自分の夢を託したかったみたいなんですけど」、周平は3歳でポケバイデビュー。以来、青山家とバイクの長い生活が始まった。

バイクには「触ったこともなかった」という明美さん。ほどなく、モータースポーツが特殊な世界であることを知る。「ポケバイといっても、お金がかかるんですね。のちのことですが、夫のボーナスが部品代に消えたこともありまし

た」。レーシングスーツは当時で10万円ほど、ヘルメットも2万~3万円はかかる。昇さんはガソリンスタンドの店長から、より給料の高いトレーラーの運転手に転職した。明美さんもパートに出た。バンクセンサーという懸賞では、まな板で自作する工夫も凝らした。夫婦で子どもを支えた。

何よりも心配だったのは事故だ。年輪とともにバイクのクラスも上になり、危険性も増した。明美さんは「そろそろ、やめてもいいんじゃない。もしかしたら、死んじゃうかもしれないよ」とバイクを降りるよう勧めたことがあるという。息子たちの返答は「それでもいいから、やりたい」。「あれを聞いたときは、母親としては複雑でしたね」。悩みながらも、応援することを決めた。

博一は10年6月、英国GPで存続を圧迫骨折する事故に遭った。周平も小さなけがは日常茶飯事だ。明美さんは一度、怖くなって、レースを見るのをやめた。

「そのとき、夫から『一生懸命走っているんだから、見てやれ』と言われて、それからは頑張って見るようにしています」

レース中に固く握り締められた手のひら。気がつかないうちに爪が食い込み、血がにじむ。いまだに慣れることは

ないが、「骨折くらいはケガのうちに入らない。命がかかっているんで、生きていてくれてありがとあって思いながら」。全身全霊で息子たちのレースを見届けている。

今年、周平はオートレーサーとして3年目を迎え、1月19日の一般車デビュー戦で勝利を飾った。博一はロードレース世界選手権(WGP)の最高クラスであるモトGPに復帰した。勝負の年が待っている。

明美さんは、ときに結婚した周平を自宅でもてなし、ときに海外に出向き、博一に食事をつくる。「つくるのは肉じゃがとか、ひじきとか、おみそ汁とか。夏場だとそうめんですかね。うちではきゅうりやハム、鰻糸餅とか薬味をつけて食べるんですよ」。いくつになっても、子どもは子ども。息子の好物について話す母のまなざしは温かかった。(谷野哲郎)



1988年頃の青山博一と周平

◆青山兄弟、2013年壮行会 青山博一、周平兄弟の2013年壮行会が10日、14時から千葉県市原市の五井グランドホテルで行われた。

【あおやま・ひろし(H12EM)】



ロードレーサー。99年GP125で全日本ロードデビュー。09年にはWGP250ccで4勝し、日本人8年ぶりのタイトルを獲得した。10、11年はモトGP。12年はスーパーストックバイク選手権(WSB)に参戦し、最高8位。今季はモトGPに復帰。81(昭和56)年10月25日生まれの31歳。千葉県市原市出身。

【あおやま・しゅうへい】



オートレーサー。01年GP125で全日本ロードデビュー。03年にGP125。05年にGP250を制す。10年にオートレース転向を表明し、11年にオートレースデビュー。史上初のデビュー全勝優勝、史上最速優勝(35日目)を飾り、最優秀新人選手賞を獲得した。84(昭和59)年12月5日生まれの28歳。千葉県市原市出身。

松本透前校長先生 教育功労者表彰 受賞祝賀会開かる

北総支部顧問 早尾 茂 (26E)

平成25年2月2日(土)午後、ホテルポートプラザちばにおいて、標記の祝賀会が盛大に催され、大勢でお祝いをした。当支部から当時の支部長が出席した。

参加者は、被受賞者を含めて59名、うち同窓会及び財団法人千工会を含めて13名が出席した。



式次第に従い、学校代表として副教頭より、松本透校長先生の経歴紹介、及び表彰に至った功績等が次のように話された。

松本透先生は、千葉県館山市出身、安房高校を卒業後(46年)千葉工大を経て上智大学大学院を終了され、昭和52年千葉県立葛南工業高校に教諭として教職をスタートした。同校に15年、千葉工業高校に10年間勤務後、葛南工高の教頭、千葉工高教頭を経て、平成20年船橋豊富高校校長、平成23年度千葉工業高校の校長に就任されました。

先生は、堅実で繊細な二つの顔を持っています。一つは教育者としての顔です。長年機械科職員として教鞭をとられ、学習指導、生徒指導はもとより、千葉工高では、教務主任、総務部長として、学校運営全般に精通するとともに、同校の創立60周年記念事業に携わり、さらに70周年記念事業にも教頭として陣頭指揮に当たられました。

その後、普通高校の校長として勤務された後、再び千葉工高の校長に就任されました。時あたかも、平成23年度県の教育委員会から、千葉工高を県内の工業高校の拠点校に指定されました。松本透先生のリーダーシップのもと、改革への第一歩を踏み出しました。

もう一つは学者、研究者としての顔です。千葉大学大学院に進まれ、「ボールベアリングの小型化」の研究により、機械工学の博士号を取得しました。

先生は、学校経営者として堅実かつ柔軟な対応をされ、持ち前の明るい人柄と着実な実績が評価され、各分野から四つの教育功労者表彰を受賞された次第です。

先生は、生徒の教育は勿論のこと、後輩の教師に対しても積極的に指導され、まさに人間研鑽機の如くでありました。

表彰の紹介:

- 1 千葉県高等学校定時制通信制教育振興会教育者表彰 (会長 熊谷俊人)
- 2 全国高等学校定時制通信制教育振興会教育者功労表彰 (会長 島村宜伸)
- 3 千葉県教育功労者表彰(千葉県教育委員会)
- 4 御下賜金記念産業教育功労者表彰(会長 茂木友三郎)



(編集委員) 松本元校長先生は昨年2月に受賞され同窓会報24号には間に合いませんでした。「ほくそう第43号」の記事を早尾前北総支部長の了承を得て掲載させていただきました。

第1次南極観測隊 平山 善吉さん(27C)瑞宝小綬章受賞

宇田川 健夫 (27E)



秋の叙勲で平山善吉さんが受賞されました。平山氏は工業化学科を昭和27年卒業されました。

以下、2013.11.3 15:41 産経新聞千葉版より抜粋

昭和31年に国家の一大プロジェクトだった第1次南極地域観測隊に参加した。当時は大学院生だったが、建築学を学んでいたことと登山部での経験が買われて抜擢(ばってき)された。「建築を学んだといっても、現場を知らないただの学生。でも、自分以外に建築が分かる隊員もいなかった」と笑って振り返る。

南極の調査には日本を含め12カ国が参加し、当時到達不能といわれた地域が日本に割り当てられた。気温がマイナス60度、風速約60メートルで、建設機材は使用できない。この厳しい環境で、観測拠点となる建物を作ることが重要な課題だった。

平山さんらは、仲と棧(さん)でできた障子のようなパネ

ルの両面にベニヤ板を貼り付けたものと特殊な金物を用意し、現地でこれらを組み立てる方法で建設に成功。この工法が、後に国内でも広く普及するプレハブ建築の元祖になった。平山さんは2次、3次の観測隊にも参加し、現在南極にある日本の施設約70棟のうち約9割の設計・建設に関わったという。

大学院修了後は日大の助手となり、建築を学ぶ学生たちを指導する道歩み始めた。平成13年には、手抜き工事などが原因で建築関係の訴訟が相次いだことを受け、最高裁が設置した「建築関係訴訟委員会」の委員に選ばれ、専門的

な知識を駆使して訴訟期間の短縮などに貢献。この経験をもとに、建築を学ぶ学生らが訴訟を防げるよう、「司法と建築」というテーマで講演も始めた。

新しいことへの好奇心から、平成7年には世界最高峰エベレストの北東麓ルートに挑み、世界で初めて登頂に成功。「いろいろやった中で教育分野での受章と聞いて驚いた」と話すが、「新しいことに挑み、その成果を社会に還元することを常に考えていた。若者たちもどんどん新たな挑戦をしてほしい」と次世代にエールを送った。(大島悠亮)

大空を飛び、アルプスを歩いて (オーストリア滞在 屋代 昭を訪ねて) 小川 信輝 (39E)



屋代氏(左)と筆者

アルプスの国 オーストリアに滞在する友人 屋代 昭(同窓会報24号「オーストリア雑記帳 本場でスキーとギターの教師」掲載)を訪ね、中世の街とアルプスを歩く為2013年7月、40年ぶりにヨーロッパへ行く事にしました。

成田空港から南ドイツのミュンヘンへ、約9時間飛び電車に乗り換えて3時間、彼の住むブレゲンツに到着。ドイツ、スイスと国境を接し、琵琶湖とほぼ同じ面積のポードン湖が広がり、背後は3000m級の山が連なる雄大な風景です。そこを拠点に電車でバスで郊外を見学。

スイスへ向けて出発しましたが、人口3万人のリヒテンシュタインに入り、村役場のような国会議事堂と丘の上の国王の城を眺めながら小国の存在を確認しました。

40年前、ヨーロッパに旅立った時は羽田空港からでした。当時、成田空港は反対闘争の続く中建設工事が進められていました。アラスカ アンカレッジ経由で北極上空を飛び15時間かかりました。今回はロシア上空を飛び6時間短縮。冷戦が終わって世界が仲良くなったおかげです。前回はフランス、オランダ、ベルギー、スウェーデンを訪問しましたが国ごとに通貨単位が異なり入国する度に両替しなければなりません。今回は4カ国を回りましたがどこもユーロで両替の必要がなく手間がかかりません。

しかし、この経済圏を維持して行く為各国の首脳は力を合わせています。特に日本と同じ敗戦国ドイツのメルケル首相は、先頭に立ってリードしています。これからは、私達のアジアも日本が積極的にロシア、中国、韓国、北朝鮮、東南アジアの国々ともっと交流を深め、信頼関係を築いて争いのない平和な社会にして行きましょう。

私は昭和20年9月、敗戦の年に満州の奉天で生まれました。父は満州鉄道で車掌をしていました。ロシアも侵攻、中国も政府軍と共産軍が戦争になり混乱の中でしたが、私は生まれたばかりで今すぐに移動できない、私が歩けるようになったら出発しようと留まり、1年過ぎたら引き揚げですが、父はこの地に残って仕事を続けたいと言ったが、母は戦争に負けてこの地に居ることは許されないと話し合い、中国 コロ島から博多へ上陸、山陽本線、東海道本線で何ヶ月もかかって千葉へ引き揚げました。途中多くの子供や弱った人は死に、鉄橋にさしかかると死体を川に投げつけて水葬した。私も千葉へ着いた時は栄養失調で歩けなくなり死の寸前だった。そのせいか、小学生時代は病気がちで、近くの蘇我病院や今井町診療所へ、母に背負われて通院が続きました。

昭和39年、東京オリンピックの年に電気科を卒業。父が始めた事務用品販売に従事して現在に至っています。近年は再生可能エネルギー発電を求めていましたが風力発電、太陽光パネルで従来より数倍の効率で発電できる。しかし工房や実験室ではできたものの消費者のもとには危険が大きく世に出せない残念な事が続いていました。

3年前、重力の移動と遠心力を利用して無限の回転を続ける動輪が開発され、無公害発電ができた。この発電機を世界に紹介して化石燃料や原子力を必要としないエネルギー社会にしたい、一緒に結んで欲しい依頼を受け、手伝い始めました。鉄製で直径2m、約600kg、500rpmのトルクは約40~50kwh発電します。間もなく市場に出て発電が始まる計画です。小さな灯ですがこの夢が実現する事と今生きて来られた事を天の父なる神に感謝し、寛野の国でも資源の少ない小国でも永遠に続くエネルギー社会を願い、祈るばかりです。

特別寄稿 歌祭り・居酒屋、そしてセミナー いま他県・他校の同窓会活動は…

福原 敏夫 (35E)

「クールジャパン」の定番は富士山、アニメ、すし等か。外国人には日本型同窓会もかっこいいらしい。恩師を招いたり、温泉で一泊なんて。その同窓会活動は今どうなっているのだろうか。戦後GHQの指導で「学制改革」がすすめられ「多くの旧制中学が同じレベルの高等女学校と統合され新制高校となった」（「名門高校人脈記」鈴木隆祐 光文社新書）。現在それ以来の統合が、少子化による生徒数の減少がもたらした二期である。「2002年からの10年間で16組の統合を実施した」と県高校改革プラン推進室は胸を張る。だが多くの高校では慣れ親しんだ校章や校歌は消え、伝統と校風の継承性も失われた。卒業生の同窓会への関心や集中が気になる。何とか会活動の活性化を図ろうとしている所もある。方向を変え県外に他校の例を訪ねてみた。

歌って聴いて連帯感

元気の歌声が日比谷公会堂に響いていた。昨年10月に行われた「第21回東京校歌祭」である。各校の「同窓会またはその有志が集まり、校歌・学生歌等の伝承と振興をはかり、会員相互の親睦を増進する目的」（東京校歌振興会規約）で開催されたものだ。参加は約20校だが千数百人が会場を埋めた。校歌（旧制中学のもの含む）以外にも応援歌、学友歌、卒業式の歌などもうたわれた。曲の作詞が宇田喜伴や与野野寛など。作曲家では「海ゆかば」の信時潔や山田耕筰、大中恩など著名な大家がずらり。さすが東京の学校、と感心した。ステージは変化に富み合唱サークルや器楽伴奏、在校生も登場した。ゲスト出演で旧制一高（現・東大）や東京商大（現・一橋大）予科などの寮歌も関係者によって披露された。以前テレビで見た「日本寮家祭」のような雰囲気会場は一時なった。余談だが「寮家祭」はバンカラ（実はエリート意識の裏返し）旧制高校卒業生の高齢化で2010年に終焉を迎えた。



賑やかだった東京校歌祭、日比谷公会堂で

映画の山田洋次監督（82歳）が最後の卒業年代というから止むを得まい。

校歌祭は練習過程が楽しい同窓会になり、連帯感が一層強まるという。神奈川県でも5、6年前から開かれ盛会だそうだ。千葉県はどうだろうか。

ノート上に母校の思い出

新橋に「有楽酒蔵（ユウクンサカグラ）」という居酒屋がある。「高校よせ書きノートの店」としてNHKテレビでも紹介された。客の希望で出身校のノートが作成される。母校のことや同窓生の消息、先・後輩のエール交換、ふるさと通信など自由に書く。ファイルは保存され、次に来た同窓の客にリレーされる。現在2,452校のノートがあるが、昨年度の全国高校数は5,029である。店宛拜と同所の福岡県の久留米大付設高は、孫正義ソフトバンク社長や「ホリエモン」こと堀江貴文氏の出身校で有名だが、ノートは5冊ある。

本校分は奇妙な後輩のおかげでNo1609のノートが登録されている。ノート上の同窓生の交歓は緩やかな同窓会活動の一環ともいえる。勤務先の企業に自己同一化し勤ちな日本人は、酒を飲み会社の話をする人が多い。その帰属意識を少し同窓会の方へ向けてみるのはどうだろうか。

有為な人材輩出しフィードバック

高校が大学を助ける！？埼玉県の早稲田大学本高等学院の話だ。同窓会がOB大学生の就職活動を支援している。セミナー形式で同じ高校の先輩社会人から就活の方法、業界・企業動向などの説明を受ける。「マンツーマンで“ここだけの話”も沢山あった」「公務員試験や独立起業に関しても聞けた」など大学の指導で得られぬ収穫もあり好評だ。

昨年からは市川学園でも同じようなことを始めた。同窓会誌で「就活サポーター」を募集。色々な職種・年代の人60人が登録され、サポーター同士の交流も生まれ、同窓会活動にも好影響が表れている。

本校は2016年から進学に特化した「理工工学科」の新設を予定している。将来はOB大学生が増え就活支援も話題になるか。元より卒業生は幅広い分野で活躍し情報にも明るい。こうした人材輩出の使命について、司馬遼太郎は「学校は国や社会への配電盤」（「街道をゆく 本郷界限など」と述べた。ならば社会で得たものを学校（同窓会）にフィードバック（feedback反応・感想の返送、電気出力の帰還、の意）し完結する。この協力で同窓会が元気なれば喜ばしいことだ。

千葉工業高校 この一年

技能五輪全国大会



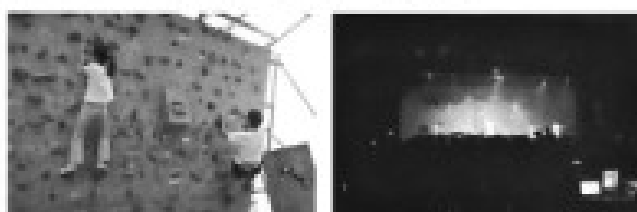
本校、平成24年3月に卒業した後藤尚紀さんが静岡県立沼津技術専門校で行われた旋盤部門で全国4位の敢闘賞を受賞しました。ますますのご活躍をお祈りしております。

体験入学



中学生の体験入学が行われました。工業高校でものつくりの面白さを体験していただけたと思います。

平成25年度 文化祭



11月1日、2日に文化祭（千工祭）が行われました。各クラス、部活動の活躍によって例年よりもたくさんの方々が来校されました。すごい盛り上がりでした。

野球応援



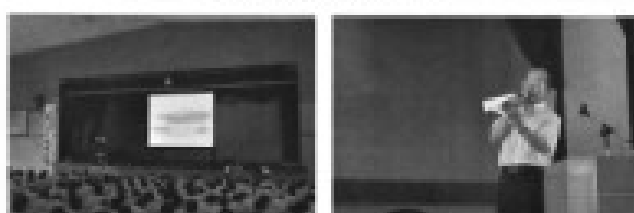
習志野秋津野球場で2回戦我孫子高校との試合で野球部・吹奏楽部・応援委員会での野球応援が行われました。

体育祭



10月30日に千葉工業高校のグラウンドで体育祭が開催されました。千葉工業高校 第二回 体育祭です。色々な種目があり、各組大いに盛り上がりました。そして、栄えある総合優勝は工業化学科（赤組）、クラス総合優勝は工業化学科2年生でした。

創立記念講演会



7月17日に創立記念講演会が行われました。小池忠良先生(38E)が「創立77周年を祝し 温故知新・更なる飛躍を！」で講演をして頂きました。

冷房完備

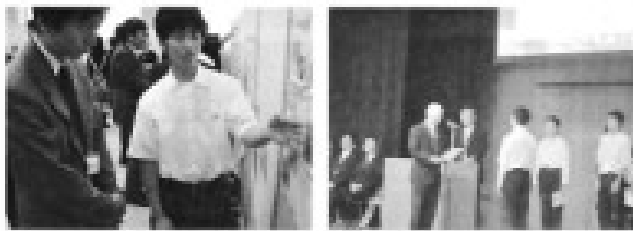
今年度から千葉工業高校では冷房(エアコン)が全ホームルーム教室に完備されました。

植栽



美化委員会の1年生とPTAの保護者と千葉工業高校OBの方とで植栽が行われました。

理科研究発表会



第7回高校生理学研究発表会が千葉大学で行われ、本校より2テーマで3名の生徒が参加しました。「風力発電について」で、情報技術科2年生の生徒と電子機械科2年A組の生徒が優秀賞を受賞しました。

千工研ロボフェア2013



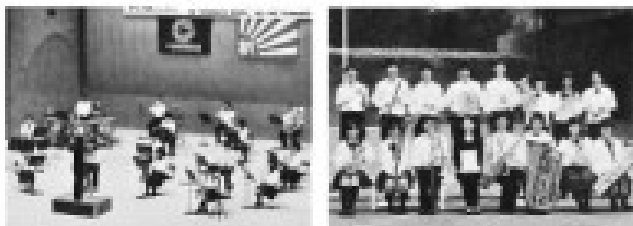
千工研主催のロボフェアが千葉市のQiballで開催されました。千葉工業高校生も役員として参加しました。

高校生による科学工作教室



千葉市南部青少年センターで行われ、近隣の小中学生21名が参加しました。偏心モーターをつかったライトレースカーを製作しました。

吹奏楽部



第19回日本管楽合奏コンテスト全国大会2013で優秀賞を受賞（入賞）しました。

機械発明創作部

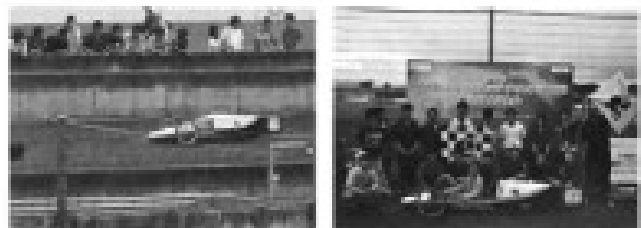


- 第25回 全日本ロボット相撲 関東大会
高校生の部ラジコン型 準優勝
 - ・電子機械科3年A組 成田 雄大君
 - ・電子機械科3年B組 田中 景君
- 全日本ロボット相撲大会
高校生の部ラジコン型 準優勝
 - ・電子機械科3年A組 成田 雄大君
 - ・電子機械科3年B組 田中 景君

体 操 部

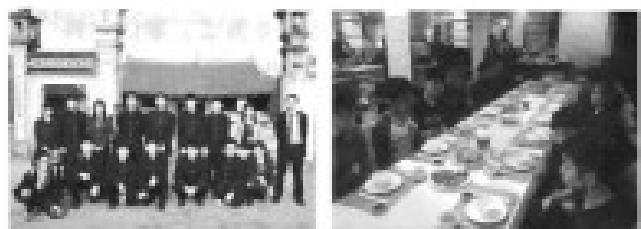
平成25年度 関東高等学校体操 新体操大会 千葉県予選会（県大会）が行われ、団体で第3位で関東大会の出場が決定しました。

自 動 車 部



第33回ホンダエコマイレッジチャレンジ2013全国大会において1,053.118km/L 24位/149チーム中という記録でした。

ベトナム国際交流事業



12月22日から28日まで生徒12名、引率職員3名、ハノイ工業職業訓練短期大学を訪問しました。現地では大歓迎で迎えられ交流会などを行いました。

平成25年度 進路状況（全日制）

H26.1 現在

●就職内定者 135名(希望者137名) 内定率98.5% 求人倍率5.1倍

【就職先】(株)メガテック、ステンレスワン、宇部マテリアルズ(株)、白鳥製薬(株)、東レ(株)、住友精化(株)、千葉積水工業(株)、日本メジフィジックス(株)、東京電力(株)、三島光産(株)、JFEテクノリサーチ(株)、東邦化学(株)、日越住金物産(株)、日本板硝子ブルディングプロダクツ、デンカポリマー(株)、東日本エンジニアリング(株)、(株)ADEKA、大阪富士工業(株)、ライオンパッケージ(株)、沢井製薬(株)、キヤノン(株)、新京成電鉄(株)、(株)峰製作所、新日本非破壊検査(株)、日立粉末冶金(株)、神東塗料(株)、JFE物流(株)、和信産業(株)、テックプロジェクトサービス(株)、JFEコンテナ(株)、山九(株)、JFEスチール(株)、(株)丸山製作所、吉野石膏(株)、いすゞ自動車エンジン販売(株)、合同製鉄(株)、東日本旅客鉄道(株)、赤星工業(株)、京成電鉄(株)、東芝エレベータ(株)、三友工業(株)、(株)正木設計、JFE建材(株)、大成塗調(株)、(株)クボタ、東京地下鉄(株)、住友重機モダン(株)、(株)ガスター、JFE鋼管(株)、トヨタカローラ千葉(株)、(株)東京エネシス、日本クライス(株)、(株)セノン、新日鐵住金(株)、朝日工業(株)、建機エンジニアリング、(株)新三興鋼管、(株)丸菱バイオエンジ、ナブコシステム(株)、(株)ラインワークス、サッポロビール(株)、三井造船千葉機工エンジニアリング(株)、三井造船(株)、(株)三越環境ビル管理、セイコウインスツル(株)、(株)森精機製作所、古河ユニック(株)、住友重機械工業(株)、丸一鋼管(株)、(株)アジクラ、(株)イトーキ、月島テクノメンテサービス、ニチハマテック(株)、新興プランテック(株)、丸山金属工業(株)、日本音速(株)、東海旅客鉄道(株)、協同組合千葉施設管理センター、(財)関東電気保安協会、東京ガスライフバル千葉(株)、マキノ電設工業(株)、旭ダイヤモンド工業(株)、(株)ミズレック、利根自動車販売サービス(株)、千葉都市モノレール(株)、塚本総業(株)、(株)関電工、(株)舞浜リゾートライン、フィデス(株)、JR東日本メカトロニクス(株)、(株)MRESCO、(株)日立ビルシステム、サンライズ・エンジニアリング(株)、中外テクノス(株)、三和倉庫(株)、三井化学(株)、(株)日鉄エレックス、(株)NTT-ME、日新製鋼(株)、神威産業(株)、(株)JFEメカテクノ、JFEケミカル(株)、ネグロス電工(株)、君津共同火力(株)、富士通エアサス・カスタマサービス(株)、サクシード(株)、(株)エレテクノス、日本ケーブル(株)、田辺工業(株)、NECネットエスアイ・サービス(株)、潮和産業(株)、海上自衛隊、航空自衛隊

【大学・短大】東京情報大学、国際武道大学、千葉工業大学、城西国際大学、日本大学、東京電機大学、千葉職業能力開発短期大学校、芝浦工業大学

【専門学校】東金高等技術専門学校、国際理工情報デザイン専門学校、千葉県自動車大学校、日本電子専門学校、東京電子専門学校、日本工学院専門学校、東京IT法律専門学校、HAL東京ゲーム開発

千葉工業同窓会 役員名簿

2014年1月1日現在

会長	顧問
深山 博 (38E)	段木 正規 (20C) 高橋 正己 (32C) 岡馬 隆史 校長

副会長	事務局	会計監査	環境整備委員長
総務担当 金子 衛 (38M) 広報担当 若月 忠良 (37M) レク担当 木間 英一 (33C) 同 藤井 孝 (42M) 同窓祭担当 宮崎 一雄 (42C)	局長 長嶋 孝雄 (42E) 次長 中村 啓介 (60E) 会計 松浦 信 (53E)	宇野 昭房 (34M) 高石 達 (35M) 高藤 公彦 (37C)	大野 繁樹 (36M)

◆編集後記◆

今回の表紙は、千葉工業高の文化祭「千工祭」の模様を掲載しました。編集委員会も11月2日に行ない委員の皆様にも見物していただきました。時代とともに催しものの変化と女子、中学生の見物には驚きました。

編集委員は事務局長の松浦先生から長嶋先生の交代がありました。編集委員長：若月忠良(37M、北総・京葉) 副委員長：住田敏和(31E、外房・東葛)、事務局長：長嶋孝雄(42E、千葉工)、委員：比連崎正幸(60M、南総)、松崎文男(37M、外房)、大橋政孝(54E、千葉市西)、宇野昭房(34M、京葉)、大野繁樹(36M、市原市)、遠藤

清司(41C、北総)、金子賢二(34M、東葛)、野村隆男(35E、千葉市東)、関口昌利(30M、千葉市中)の皆さんと編集しました。

【広報編集委員会の活動報告】

- ①25年 7月上旬 各支部長に編集委員選出
- ② 7月27日(土) 第24号 反省会
- ③ 9月 7日(土) 第25号 第1回編集方針
- ④ 11月 2日(土) 第25号 第2回原稿集め
- ⑤26年 1月11日(土) 第25号 第3回校正
- ⑥ 3月 1日(土) 第25号 同窓会報発行等を実施しました。

第29回「同窓祭」開催のご案内



同窓生の皆様お元気ですか。平成26年度の同窓祭は、来る4月20日(日)従来どおり母校で開催します。

近年、お酒はありませんが、不思議なもので同窓生と言うだけで旧知のごとく気楽に話しが出来、会場内は吹奏楽部OB・OGの演奏等で盛り上がっております。

同窓祭の主役は参加される皆様自身です。私ども同窓祭実行委員は同窓祭に参加される皆様が「楽しかった。参加して良かった。」と思って頂けるような、有意義な一時を提供することにあると考えております。

懐かしい恩師もお見えになります。是非同級生はもとよりクラブ活動、或いは通学を共にした仲間をお誘い合わせの上参加くださいますようお願い申し上げます。

なお、若い人にも多く参加していただきたいため、今年は現役高校生等との交流の場を設ける計画をしています。

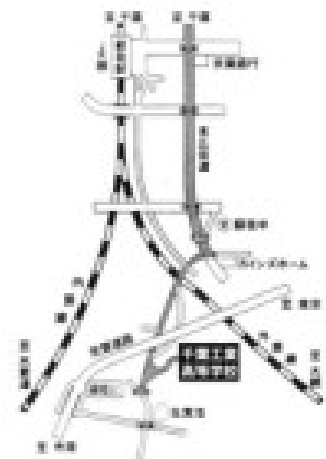
参加の方は、お手数ですが同封の振込用紙で会費を3月15日までに送金願います。なお、その近くにならないと都合がつかない場合は、当日会場で受付いたします。

「第29回千葉工業同窓祭」

- 日時 平成26年4月20日(日) 11:00～13:45
- 会場 千葉工業高等学校 食堂
- 会費 2,000円

※卒業3年以内の方は無料です。
(当日会場で受付ます)

- ・喜寿のお祝いを予定しております。該当者(昭和12年1月1日～昭和12年12月31日生)は、生年月日の記入をお忘れなくお願いします。
- ・JR蘇我駅より徒歩約20分ですが、駐車場がありませんので、公共交通機関の利用をお願いいたします。



同窓会総会の開催

通常幹事会を開催します。幹事(各クラスから選出、各地域支部から推薦)と常任幹事はご参加ください。

- 日時 平成26年5月24日(土) 14:00～16:00
- 会場 千工会館・または母校 会議室(本館2階)
- 議事 会務報告・会務計画 他

同窓会総会は3年に一回ですが、中間の2年は同窓会幹事会(本部役員/常任幹事/支部長/地域選出幹事/クラス幹事)です。

クラス幹事については、会報「第16号」(千葉工業同窓会ホームページ)に掲載しています。クラス幹事の変更等ありましたら、連絡願います。

題字 安藤 信吉 (20M)

千葉工業同窓会報

第25号

発行日 平成26年3月1日

発行者 千葉工業同窓会 会長 深山 博

事務局 〒260-0815 千葉市中央区今井町1478

千葉県立千葉工業高等学校

TEL043-264-6251 FAX043-268-5524

印刷 株式会社 千都

千葉工業同窓会ホームページ <http://chibakogyo-dosokai.jimdo.com/>